

# 令和3年度富山市農業再生協議会

## 水田収益力強化ビジョン

富山市農業再生協議会

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域の水田利用は、主食用米 61% (R2) を占めている。その一方で、担い手を中心に大麦、大豆、そば、飼料作物などの作付けを進めることにより、不作付地を 10.2% (R2) に留め水田のフル活用に努めている。また、生産性向上を図るため、担い手による団地化や土地利用集積等を推進しており、大麦、大豆、そば、飼料作物の団地化・土地利用集積の取組は 89.9% (R2) となっている。

しかし、今後より一層、主食用米の需要の減少や農家の高齢化に伴う農家戸数の減少が見込まれ、不作付地の拡大も懸念されることから、転作作物の作付けを促進するとともに、担い手による団地化や土地利用集積等により生産性の向上を図り、水田のフル活用を進める必要がある。

### 2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

農業所得の増大及び収益力の強化に向けては、水田をフル活用し、需要のある非主食用米、大豆、大麦、高収益作物等の拡大・産地化が重要である。そこで、作物ごとの取組方針に基づき、生産拡大や生産性向上の取組を推進するとともに、大豆等の団地化や担い手への農地・農作業の集積など、地域の合意に基づく土地利用調整の継続により、水田農業の活性化及び農業経営の収益性の確保を図る。

### 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田の有効活用に向けては、これまでも大麦あとの有効活用等に取り組むとともに、担い手への農地の集約を推進してきたところである。加えて、今後は基盤整備等を活用した農地の集約化を図ると同時に、水田の利用状況を確認するため、畑作物のみを数年以上作付けしている水田を農家が営農計画書等に記入することとし、本人の自己申告に基づき支援策を活用した畑地化が可能か検討する。

### 4 作物ごとの取組方針等

富山市の約 1.18 万 ha の水田について、適地適作を基本とし、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

#### (1) 主食用米

「ほおばる幸せ。富山米」をスローガンとして、売れる米づくりの徹底によって米の主産地としての地位を確保するため、「高温に打ち勝つ米づくり」、「低コストな米づくり」、「安全・安心な米づくり」、「良質な種子の生産」に向けた総合的な技術対策をしっかりと進めるとともに、前年の需要動向や集荷業者の意向を勘案しつつ、需要に即した米の生産を行う。

また、中食・外食のニーズに対応した業務用米の生産と安定取引の推進などにより販路拡大を図るとともに、有色米の取組を推進する。

#### (2) 備蓄米

主食用米、及び新規需要米の需給動向等を考慮しつつ、各産地において取組を推進していく。

#### (3) 非主食用米

##### ア 飼料用米

産地交付金の活用により多収品種の導入と複数年契約（3年以上）等を推進し、低コスト化に努め、収益性を確保しながら需要に応じた取組拡大を図る。

イ 米粉用米

水田フル活用に向け米粉用米の取組を推進し、多収品種の導入と複数年契約（3年以上）等を推進し、低コスト化に努めるとともに、地元需要者の需要に即した生産を行う。

ウ 新市場開拓用米

水田フル活用に向け海外需要などの新市場開拓用米の取組を推進する。

エ WCS用稲

水田フル活用に向けWCS用稲の取組を推進し、低コスト化や二毛作に努めるとともに、地元需要者の需要に即した生産を行う。また、管内畜産農家との耕畜連携の取組を推進する。

オ 加工用米

産地交付金の活用により、地元実需者等との結びつきを強化し、直播による低コスト化を推進し、生産の維持・拡大を図る。

(4) 麦、大豆、飼料作物

産地交付金の活用により担い手による土地集積を進め、団地化及びブロックローテーションを継続することにより、団地としての排水効果の発揮など生産性向上に努め作付面積を拡大する。

また、麦、大豆については、さらなる生産性向上に向け麦あと大豆作を進め、大豆と地力増進作物や堆肥を組み合わせた作付け、収量向上技術の導入により収量・品質の向上を目指すとともに、良質な種子の生産を行う。

飼料作物については、生産性向上に向けて団地化や担い手への集積とともに二毛作を推進する。また、管内畜産農家との耕畜連携の取組を推進する。

(5) そば、なたね

地元の製粉業者との連携や直売活動など地域の実需者との契約に基づき、現行の作付面積を維持する。また、産地交付金の活用により、団地化や担い手への集積とともに二毛作を推進し、更に収量向上技術の導入により、生産性の向上に努める。

(6) 高収益作物（園芸作物等）

産地交付金の活用により、以下の推進品目を中心に導入を推進し、担い手等の経営安定化が図られるよう誘導する。

① 1億円産地づくりを目指す特定品目および広域産地形成品目の作付けを拡大する。

・1億円産地づくり出荷作物

JA富山市...ばれいしょ

JAなのはな...キャベツ

JAあおば...にんじん

JA山田村...リンゴ

・広域産地形成品目

にんじん、キャベツ、たまねぎ、ばれいしょ（市内全域）

② 「白ねぎ」、「軟弱野菜」、「大カブ」、「トマト」、「切花」、「えごま」、「キャベツ」、「たまねぎ」「さといも」を振興品目として拡大する。

③ 葉用作物の需要に合わせ、作付けを拡大する。

④ 麦を作付けしたあとの耕地および大豆を作付けするまえの耕地を有効活用し、広域産地形成品目の作付けを拡大する。

5 作物ごとの作付予定面積

別紙のとおり

6 課題解決に向けた取組及び目標

別紙のとおり

7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

単位: ha

作物	前年度の 作付面積 (うち二毛作)	当年度の 作付予定面積 (うち二毛作)	令和5年度の 作付目標面積 (うち二毛作)
主食用米	7,130.0	7,014.7	7,009.2
備蓄米	526.8	580.5	580.5
飼料用米	290.6	314.3	315.9
米粉用米	1.6	1.6	1.6
新市場開拓用米	19.9	26.2	26.3
WCS用稲	104.3	136.2 (5.0)	138.9 (5.2)
加工用米	110.9	111.2	112.3
麦	368.3 (134.2)	388.6 (146.3)	397.8 (150.7)
大豆	666.9 (4.5)	664.1 (4.5)	666.1 (4.5)
飼料作物	79.5 (35.5)	73.6 (36.0)	75.8 (37.1)
そば	123.1 (12.5)	117.0 (10.0)	120.5 (10.3)
なたね	2.0 (2.0)	0.0	0.0
高収益作物	174.3 (6.0)	178.3 (11.0)	183.1 (11.3)
野菜	133.8 (6.0)	143.0 (11.0)	145.7 (11.3)
花き・花木	25.7	23.4	24.1
果樹	3.2	1.0	1.1
雑穀	9.7	9.0	10.1
薬用作物	1.9	1.9	2.1

(別紙)

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度(実績)		目標値	
				年度	年度	年度	年度
1	(基幹作)麦・大豆・飼料作物・そば・なたね	担い手戦略作物等集積団地化加算	定着率(%) (当使途対象面積(ha)/基幹作物作付面積(ha)) ・麦 ・大豆 ・飼料作物 ・そば ・なたね	令和2年度 90.6(212.0/234.1) 93.2(617.4/662.5) 97.1(77.2/79.5) 99.9(122.8/122.9) 0.0(0.0/20.4)	令和5年度 95.0(197.6/208.0) 95.0(629.4/662.5) 100.0(79.0/79.0) 99.0(121.7/122.9) —		
2	(二毛作)戦略作物の二毛作の麦・大豆	戦略作物高度利用加算 麦大豆加算(二毛作)	定着率(%) (麦+大豆の組合せの二毛作作付面積(ha)/麦・大豆の基幹作物作付面積(ha))	令和2年度 15.5 (148.9/960.3)	令和5年度 17.0 (163.3/960.3)		
3	(基幹作)大豆	戦略作物高度利用加算 地力加算	定着率(%) (当使途対象面積(ha)/大豆の担い手戦略作物等集積団地化加算対象面積(ha))	令和2年度 9.0 (59.9/662.5)	令和5年度 12.0 (79.5/662.5)		
4-1 4-2	(基幹作)六条大麦 (二毛作)六条大麦	麦収量向上技術加算	平均単収(単位:kg/10a) (対象面積(ha)) ・六条大麦	令和2年度 298(175.0)	令和5年度 310(181.2)		
5-1 5-2	(基幹作)大豆 (二毛作)大豆	大豆収量向上技術加算	平均単収(単位:kg/10a) (対象面積(ha)) ・大豆	令和2年度 160(662.5)	令和5年度 175(662.5)		
6	(基幹作)そば	そば収量向上技術加算	平均単収(単位:kg/10a) (対象面積(ha)) ・そば	令和2年度 80(103.9)	令和5年度 70(103.9)		
7・8・9	(基幹作)麦、大豆、そば	収量向上加算	平均単収(単位:kg/10a) (対象面積(ha)) ・麦 ・大豆 ・そば	令和2年度 298(98) 160(92) 80(50)	令和5年度 350(22) 200(98) 50(50)		
10	(基幹作)加工用米	加工用米加算	対象面積(ha)	令和2年度 109.2	令和5年度 114.8		
11	(基幹作)出荷野菜・出荷花き花木・出荷果樹・出荷雑穀・出荷薬用作物	出荷作物基本助成	対象面積(ha)	令和2年度 146.1	令和5年度 161.0		
12	(基幹作)1億円産地づくり出荷作物・広域産地形成品目(出荷野菜・出荷果樹)	1億円産地・広域産地形成品目助成	対象面積(ha)	令和2年度 12.7	令和5年度 15.7		
13・14	(基幹作)特産作物(出荷野菜・出荷花き花木・出荷果樹・出荷雑穀・出荷薬用作物)	特産作物加算	対象面積(ha)	令和2年度 130.3	令和5年度 160.0		
15	(二毛作)広域産地形成品目	広域産地形成品目特産加算(二毛作)	対象面積(ha)	令和2年度 6.0	令和5年度 9.0		
16-1 16-2	(基幹作)特産作物、1億円産地づくり出荷作物、広域産地形成品目 (二毛作)広域産地形成品目	担い手特産作物集積団地化加算	対象面積(ha) ・基幹作 ・二毛作	令和2年度 79.4 5.3	令和5年度 94.4 8.3		
17	(基幹作)飼料用米・米粉用米	飼料用米・米粉用米多収品種加算	定着率(%) (当使途対象面積(ha)/基幹作物作付面積(ha))	令和2年度 63.8 (185.6/290.9)	令和5年度 73.0 (223.4/308.0)		
18	(基幹作)そば・なたね	そば・なたね基本助成	対象面積(ha)	令和2年度 122.8	令和5年度 137.8		
19	(基幹作)新市場開拓用米	新市場開拓用米助成	対象面積(ha)	令和2年度 19.8	令和5年度 34.8		
20	(基幹作)飼料作物	担い手飼料作物集積団地化加算(10ha以上)	定着率(%) (当使途対象面積(ha)/基幹作物作付面積(ha))	令和2年度 79.2 (63.0/79.5)	令和5年度 82.0 (77.5/94.5)		
21	(二毛作)戦略作物の二毛作の麦・大豆	担い手麦大豆集積団地化加算(二毛作)	定着率(%) (当使途対象面積(ha)/基幹作物作付面積(ha))	令和2年度 19.5 (174.4/896.6)	令和5年度 22.0 (200.9/913.3)		
22	(基幹作)飼料用米・米粉用米	飼料用米・米粉用米複数年契約加算	飼料用米(複数年契約取組面積(ha)・数量(t)) (作付面積(ha)・数量(t)) 米粉用米(複数年契約取組面積(ha)・数量(t)) (作付面積(ha)・数量(t))	令和2年度 (290.6/1,564) (290.9/1,659) (0.0/0.0) (1.6/9.0)	令和5年度 (379.6/2,050) (417.2/2,253) — —		
23	(基幹作)加工用米	加工用米低コスト化技術加算	定着率(%) (当使途対象面積(ha))	令和2年度 13.6 (14.8)	令和5年度 45.9 (95.6)		

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。  
 ※ 目標期間は3年以内としてください。